

CLIPPER

快速艇

No.130 2023 令和5年7月18日

いあいさつ



PTA会長 宮川 裕之

に子供達の学校生活が円滑に行っているように取り組んでいきたいと考えております。

さて、令和2年1月に新型コロナウイルス感染症が発生してから丸3年の月日が過ぎました。その間PTA活動や学校行事等に関して中止や縮小など、私達の日常生活にも影響を及ぼすつらい時期が続きました。ようやく今年5月8日に季節風インフルエンザと同じ扱いになると示され、少しずつではありますが穏やかな日常が取り戻されていくのではと感じております。その活動再開に向けて今年は大切な一歩になっていくと思っております。

伏木高校は国際交流科として学びや体験を通して環日本海地域をはじめとする(ロシア・中国・韓国・アメリカ)スクールと交流を続けてきた学校であります。できる事ややる事を見極めコロナ禍で学んだ経験を活かしながら、新たな国際交流の形づくりをおこなっていかれると思っております。また先日4年ぶりに規制のない中で体育大会がおこなわれ子供達の心からの元気と笑顔、パワーにあふれた本来あるべき姿を表現してくれた大変素晴らしい体育大会となりました。子供達の成長を感じながら今後も皆様と連携を取り合い協力しPTA活動をおこなっていききたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



世界に学び地域に学ぶ



校長 高野 靖彦

全生徒が英語に加えて第二外国語として中国語・韓国語・ロシア語のいずれかを選択し、コミュニケーション能力や国際的視野を養います。さらに海外友好校を訪問し、日本と異なる文化や価値観を理解し、友好校からの受け入れを通して相互交流を深めます。この3年間は海外研修ができない状態でしたが、オンライン交流や国内研修に取り組み、交流を継続しました。今年度は可能な範囲において再開する方向で準備を進めています。

こうした国際理解の取り組みに加えて、平成23年度から越中万葉や郷土の文学を学習し、さらには地域行事へ積極的に参加する「ふるさと教育」の取り組みが始まりました。そして現在では「国際交流」と「地域交流」の2つのエンジンで交流活動を展開しています。

本校の「地域交流」はとても多岐にわたり、まず越中国分駅・通学路などの清掃活動があります。私も白山林道クリーン作戦と伏木万葉ふ頭のごみ拾いに参加し、生徒と共に汗を流しました。さらに伏木港まつりの町流し、かたかご幼稚園での保育実習、ふしき苑での交流、伏木地区児童クラブ野球大会の審判協力、伏木観光まつり協力、伏木ふれあいの杜整備活動の参加などがあります。

今年度は、伏木曳山祭において本校の吹奏楽部員4名と教職員2名が、はじめて十七軒町曳山の巡回において笛と太鼓を演奏する囃子方を担当しました。またボランティア部が氣多神社の境内整備を主体的に行っています。

地域の方々との交流を通して、生徒は地域の方々が大切にしているものは何か、なぜそれを守ろうとしているのかを肌で学んでいると思えます。地域に学ぶこと。それは今後の人生において大きな糧になると確信しています。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

第76回 体育大会

令和5年6月8日(木)

● 体育大会結果

総合	1位 赤団	2位 青団
競技	1位 赤団	2位 青団
応援	1位 青団	2位 紫団
デコレーション	1位 赤団	2位 青団

完璧にしていくかというところで、応援練習の段取りをリーダー達と打ち合わせ、スムーズに団員が動いてくれたおかげで、赤団全体の力が一つになり、体育大会当日は、三冠を手にする事ができました。

【鸞翔鳳集(赤) 団長】

32 H 中山 恭吾

私は、この体育大会で団長を務めさせてもらい、卒業後にも繋がる貴重な経験を得ることができました。

まず、人の前に立ち指示を出していくなかでいかに準備の内容を

赤団 デコ長

32 H 宮下 薙々

私たちは、「鸞翔鳳集」をスローガンに勇ましい、鳳凰の姿を描きました。デコ係を中心にクラスメイトの協力を得ながら効率よく作業を進め、一つの作品を作り上げることができたことは私にとって



貴重な経験に繋がりました。完成日までに計画を立てることに、仲間作業工程を伝え、実際に動いてもらったことは、仲間が一致団結したからこそだと思っています。その成果もあり、最優秀賞を頂くことができたのが、高校生活最後の体育大会の一番の思い出になりました。

【威鬼蒼嵐(青) 団長】

31 H 寺 悠太

高校生活最後の体育大会で青団の団長を務めることとなり、リーダーを含めて目指したところは、「楽しむ」ということでした。分団練習では人を動かすことの難しさに苦労しました。しかし、リーダーと何度も話し合う度に質の良



青団 応援団長

31 H 三國 栞

私たち、青団は今回の体育大会の応援合戦で、優勝を頂くことができました。応援団長として、団リーダーを中心に団員をまとめることは大変貴重な体験となりました。3年ぶりの大規模な体育大会では、さまざまな制限がなくなりました。そんな中、アイディアが次々に出たことで全員が納得のいく意見に取りまとめることは大変でした。また、集団で活動するときにはどういう点に注意すべきか、指示はどう出すべきかを常に話し合うことができ、青団に関わってくださ

前期生徒会長

33 H 秋本 愛理

私は、前期生徒会長に立候補した際の公約の一つとして、「体育大会の成功」を掲げました。学校行事の中で一大イベントである体育大会をどのように盛り上げ、楽しむことができるかを生徒会執行部でも話し

た全ての方々に感謝したいと思います。

【紫電清霜(紫) 団長】

33 H 三浦悠太郎

私は、今回の体育大会で紫団の団長を務めることができ、とても感謝しています。今年は3年ぶりに声を出すことに制限がなく、競技も増え大規模な体育大会となりました。応援合戦に向けて、団リーダーと協力して全体をまとめていく経験は私にとって貴重な体験となりました。本番当日は練習の成果を発揮し、一人ひとりが声を出してくれて心から楽しめた体育大会になったと思います。私は、この体育大会で卒業後にも繋がる貴重な経験を得ることができました。

いを重ねてきました。意見の相違などもありましたが、生徒会競技では、競技に参加した仲間の笑顔を見ることができて、大変嬉しかったです。前期生徒会の任期は、残り少ないですが、体育大会の成功を糧に精一杯励んでいきたいと思っています。



白山林道クリーン作戦

4月29日(土)に伏木一宮自治会主催の白山林道クリーン作戦が行われました。一学年77名が参加し、地元の方と一緒に林道の清掃をしました。

12H 吉倉 真凜

SDGsの17目標の15番目に「陸の豊かさを守ろう」があります。目標達成の具体的な対策が12個設定されていますが、その一つが「森林の持続可能な管理」です。白山林道クリーン作戦では地域の方々と一緒に林道を清掃し、その一端に取り組むことができました。



私は今までSDGsのことをよく知りませんでした。地域の方々から貴重な機会を与えていただき、考える良いきっかけとなりました。普段の生活の中から自分たちができるSDGsの取り組みを見つけ、積極的に実践していこうと思います。

13H 高辻 愛

白山林道には、ペットボトルや缶以外にも玩具が捨てられていて、「そんなものも捨てられてるんだ」と、驚きました。地元の方が「ゴミが減らない」とおっしゃっていたので、環境問題の他に、白山林道を守るためにも、このクリーン作戦が続いてほしいと思います。また、「ごみをポイ捨てしない、放棄しない、持ち帰る」といった、一人ひとりの意識が大切です。だから、この意識が多くの人に伝わるといいなと思います。今後もこのようなボランティアがあつたら参加したいです。

ボランティア活動

100万人のゴミ拾い

5月3日を「ゴミの日」として、全校生徒に伏木万葉埠頭のゴミ拾



いと呼び掛けたところ、112名の生徒が参加し、地域の清掃活動に貢献しました。

21H 前花 利咲

朝早くから、お年寄りの方から小学生まで地域の方々が参加していました。海岸周りの場所を分担し、きれいになった海を見ると大きな達成感を得ることができました。また来年も参加したいです。

21H 林原 春海

清掃後にはごみが落ちていた海岸がきれいになっただけではなく、私の心もすっきりとしていました。また、社会に貢献できた

氣多神社境内整備活動

5月30日、地元の氣多神社の美しい景観を守ろうと本校のボランティア



部の生徒たちが氣多神社の奉賛会の皆さんと協力しながら清掃活動に参加しました。昨年

伏木曳山祭り(5月20日)

吹奏楽部が

囃子方として参加

吹奏楽部 33H 水田 百音

私は祭りのない地域に住んでいるので自分が見てもらう側としての祭りは初めてでした。この話を聞いた時、嬉しさはもちろんありましたが同じくらい不安も大きかったです。伝統的な祭りに伏木に住んでいない私が参加していいのか。短い期間の中でどこまで完璧に近づけるのか、とても不安でした。ほとんど触れたことのない楽



器は体の使い方がいつもとは真逆で、最初の練習をした次の日には腕が上がらないほど痛くなりました。周りの人がどんどん上手になっていく中、私はなかなかできないとわかっていたので、プレッシャーはありました。が湊町の皆さんや部員、友達、周りの人が励ましてくださったので最後までやり遂げることができました。今回、私たちはたくさんの方々に支えられて成功することができました。改めて日頃から多くの方々に支えられて活動ができているというのを感じました。また、短期間でも集中して練習をしたら成功することが分かりました。定期演奏会などたくさん演奏する機会があるので聴いてくださる皆さんが笑顔になる演奏をしたいです。



奉賛会が整備した展望台「氣多の杜 高志のみはらし」で竹ぼうきを使って落ち葉などを拾い集めました。この活動は秋ごろまで月2回ほどのペースで整備を手伝う予定です。

教育懇談会

5月13日(土)、令和5年度教育懇談会が本校第一体育館にて行われ、多数の保護者に出席して頂きました。

初めに、PTA・教育振興会・育成会定期総会があり、会計報告、PTA役員改選、事業報告、事業計画が審議されました。

研修会では国際部の角谷部長より、今年3月に実施された国内研修と今後の海外派遣の予定について簡単な説明がありました。

その後の学年別研修会では、子供たちの学校での様子や進学



に関する情報を得る機会がありました。

夏の「さわやか運動」

6月13日から16日の4日間、夏の「さわやか運動」が実施されました。場所は太田小学



校、伏木小学校、古府小学校、伏木中学校、本校の各玄関前や通学路で、生徒会、校風委員、PTA合同でのあいさつ運動が行われました。

生活指導副委員長 中居 美樹

初日から曇り空でしたが、時折海の方から吹いてくる風がとても心地よく担当の生徒さんたちが、のぼりを持って、爽やかな笑顔で地域の方並びに通勤の車へ挨拶しました。

国分駅から続々と生徒さんが歩いてくると一気ににぎやかになって、「おはよう。」の音が町いっばいに響き渡りました。

高岡地区PTA 指導者研修会

PTA副会長 梅田 忠志

6月15日(木)、高岡市生涯学習センターにてPTA指導者研修会が開催されました。本校から、宮川PTA会長、副会長2名、高野校長、教諭1名の5名で参加させていただきました。指導者研修では、高岡商業高校、高岡工業高校、高岡高校の3校から研究発表があり、PTA活動の在り方について意見交換がありました。コロナ禍でPTA活動が制限される中だったからこそ、

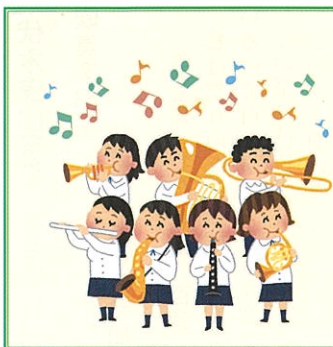
一日のエネルギーが、たっぷりつまった生徒の元気な様子が見れてとても良かったです。

活動の見直しや新しい課題を発見し、生徒の成長には保護者と先生の協力が不可欠だということをおため実感しました。
引き続き、富山大学院教職実践開発研究科の林誠一教授より、「教育のこれまでとこれから」と題し講演会が開かれました。学校、家庭、地域が連携し協力することでどのような環境であっても幸せになれる子供を育てる。子供たちの幸せの未来のためにPTAがどのような役割をはたせばよいのか学び、PTAの大切さを感じました。



吹奏楽部 定期演奏会

・日時 8月10日(木) 午後7時 開演
・会場 高岡文化ホール
・チケット 300円
ハーバライツとのコラボも
お楽しみに!



行事予定

- 7/20(木) 一学期終業式
- 7/22(土) 職業人講話
- 7/29(土) 伏木港まつり
- 8/10(木) 吹奏楽部定期演奏会
- 9/1(金) 二期始業式
- 9/27(水) 高教研大会
- 9/29(金) 30(土) 府丘祭
- 10/7(土) 一・二年土曜補習
- 三年 模試
- 10/10(火) 中間考査
- 10/14(土) 進路研修会
- 11/9(火) 球技大会
- 11/29(水) 期末考査
- 12/20(水) 21(木) 保護者会
- 12/22(金) 二期終業式
- 1/9(火) 三期始業式
- 3/1(金) 卒業式
- 3/23(金) 終業式

あとがき

知っておられましたか? クリッパーの発行がこの時期なのは、保護者の方の手に渡りやすいからだそうです。この広報誌が、少しでも多くの方の目にとまると嬉しいです。今回、PTA活動に協力または、原稿を執筆いただきました皆様へ深く感謝申し上げます。

(総務委員一同)